

地域をつなぎ、世代をつなぎ、時代をつなぎ、未来を創る

岩手県議会議員

佐々木 のぶかず



いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

岩手県議会では、2月13日から2月定例会が開会しました。今回は令和8年度当初予算を審議する「予算議会」であり、県政の重要課題について幅広い議論が行われました。

代表質問では、達増知事が掲げる「マニフェスト+39」の取組の進捗や、その実現に向けた具体的な政策について知事とのやり取りが行われました。人口減少の進行や物価高の影響、地域産業の担い手不足など、岩手県を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中で、地域の暮らしを守りながら、岩手がこれからも挑戦できる地域であり続けるために、どのような政策を進めていくのかが問われています。

私も予算特別委員会において、会派を代表して57分間の総括質疑を行い、復興とこれからの沿岸地域、中小規模事業者振興、水産業、鳥インフルエンザ対応などについて知事の考えを伺いました。

本紙では、今回の議会で議論された主な内容や、令和8年度予算のポイントについて、できるだけ分かりやすくお伝えします。

これまでの経験を糧に、今後も現場の声を大切にしながら、地域の実情に即した県政の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

岩手県議会議員 佐々木 宣和

PROFILE

岩手県議会：議会運営委員会委員、総務委員会委員、グローバル化・多文化共生調査特別委員会、東日本大震災津波復興特別委員会委員
自由民主党岩手県支部連合会：筆頭副幹事長・県連改革担当室長
その他役職：全国林業改良普及協会副会長、岩手県生活衛生同業組合中央会顧問、岩手県KB野球連盟会長
昭和58年11月23日生まれ42歳。岩泉小中、盛岡一高、早稲田大学理工学部卒業。
座右の銘：自強不息 資格：防災士、脱炭素アドバイザーベーシック

令和8年度 一般会計当初予算(案)における主な取組

ポイント 復興の着実な推進とともに、人口の自然減・社会減対策を主軸にしながら、輸出・インバウンド拡大、国内外からの投資促進による世界に開かれた地方創生と暮らし・仕事を守るための取組により、県民一人ひとりの地方創生を推進する。

～復興の推進～

・安全の確保、暮らしの再建、なりわいの再生、未来のための伝承・発信に基づく取組や、復興道路を生かした新たな産業振興、水産業の再生に係る取組等の推進

4つの重点事項

R7:916億円→R8:1,001億円(うち新規分61億円)

① 自然減・社会減対策 R7:228億円→R8:284億円

一人ひとりの希望に基づく多様なライフステージに応じた支援を強化し、
・性別にかかわらず誰もが活躍できる環境の整備、結婚・子育ての支援
・移住定住、インバウンド観光、輸出の強化、関係人口拡大

② GXの推進 R7:97億円→R8:116億円

岩手の優れた自然環境を生かし、
・カーボンニュートラル、気候変動への適応
・地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長 等を推進

③ DXの推進 R7:64億円→R8:109億円

岩手県DX推進計画に基づき、
・行政、産業、社会・暮らしのDX、DXを支える基盤整備
・DXによる地域課題の解決 等を推進

④ 安全・安心な地域づくり R7:528億円→R8:492億円

災害、感染症、交通事故や犯罪などあらゆるリスクへ包括的に対応するため、
・防災・減災の主流化(災害への備え)
・感染症・家畜伝染病への対応、日常生活のリスク低減 等を推進

※複数事項にまたがる事業については、重複して事業費を計上

10の政策分野

社会経済情勢等に応じ
施策強化

I 健康・余暇 R7:770億円→R8:827億円	II 家族・子育て R7:219億円→R8:225億円
III 教育 R7:182億円→R8:248億円	IV 居住環境・コミュニティ R7:53億円→R8:55億円
V 安全 R7:57億円→R8:55億円	VI 仕事・収入 R7:805億円→R8:837億円
VII 歴史・文化 R7:4億円→R8:4億円	VIII 自然環境 R7:68億円→R8:83億円
IX 社会基盤 R7:610億円→R8:569億円	X 参画 R7:19億円→R8:16億円

「新しい時代を切り拓くプロジェクト」の展開

・長期的な視点に立って、岩手らしさを生かした新たな価値・サービスの創造などの先導的な取組を展開

広域振興圏の施策の推進

・市町村との連携、地域資源を生かした県北・沿岸振興
・人口減少対策に呼応した取組
・各広域振興圏の特性に合わせた地域課題の解決

57分間の総括質疑 ～岩手は挑戦できる地域であり続けられるのか～

岩手県議会では、新年度予算を審議するため「予算特別委員会」が設置され、各会派に配分された時間の中で総括質疑が行われます。総括質疑では、予算の考え方や県政運営の方向性について、知事や執行部に対して幅広く質問を行います。

今回、私は自由民主党会派を代表して総括質疑を担当しました。会派に配分された57分の時間の中で、人口減少対策、産業振興、災害対策、地域医療など、県政の主要課題について知事及び関係部局に質問を行いました。

詳しくは▼



全文見れます

■復興の進捗とこれからの沿岸地域

Q 震災復興のハード整備が一区切りを迎える中、復興は「完遂」の段階にあるのか、それとも地域経済の自立に向けた「転換」の段階にあるのか伺います。

A 地域経済の回復実感は横ばいの状況にあり、今後は国の地方創生施策なども活用しながら、地域資源を生かした産業振興や交流人口の拡大に取り組んでいます。

■人口減少対策と県の人口ビジョン

Q 国の地方創生では、人口目標を掲げる発想から、地域の経済や生活環境を強化することで結果として人口動向が形成されるという考え方への転換が示されています。こうした変化を踏まえ、本県の人口ビジョンを今後どのように位置付けていくのか伺います。

A 国の新たな総合戦略は、地方の「強い経済」の実現を重視する内容であり、本県としても歓迎しています。今後は国の政策ロジックや社人研の人口推計を踏まえ、新たな県の総合戦略の中で人口ビジョンを検討していきます。



■商工指導団体の処遇改善

Q 中小企業支援の現場を担う商工会・商工会議所について、人材確保と体制維持のため、人件費補助単価の見直しを単発で終わらせず、計画的に引き上げていく必要があると考えるがどうか。

A 経営指導員等の役割は重要であり、処遇改善につながる人件費補助単価の引き上げが必要と認識している。令和8年度予算案では補助単価を引き上げ、概ね3年で東北平均水準まで段階的に引き上げる考え。

■水産業リボーン宣言と今後の方向性

Q 水産業リボーン宣言に基づく取組により、本県水産業や漁協経営にどのような成果が現れているのか。また、今後どのような柱で水産業の再生を進めていくのか。

A ウニの蓄養やサケ・マス類の海面養殖など取組が広がっている一方、サケやアワビの漁獲量は回復していない。今後は藻場の再生や海業の推進を加えた「シン・リボーン宣言」により、水産業の再生に取り組んでいく。

■高病原性鳥インフルエンザへの対応

Q 金ケ崎町で発生した高病原性鳥インフルエンザでは大規模な防疫措置が行われました。昨年の発生で得られた教訓が、初動対応や動員体制、関係機関との連携などにどのように活かされているのか。

A 昨年の対応を踏まえ、防疫体制の見直しを進め、動員計画の整備や民間委託の導入などを行った。今回の事案では迅速な防疫作業と行政サービスの維持を両立できたとしており、今後も検証を重ねながら体制の改善を進めていく。

市町村立学校給食支援事業費補助 (約28億円)

国が進める公立小学校給食費の「抜本的負担軽減(実質無償化)」の方針を踏まえ、市町村と連携して給食費支援を実施。児童1人あたり月額5,200円を基準に支援し、子育て世帯の負担軽減と自治体間格差の是正を図ります。

暮らしを支える主な事業

(令和8年度予算から)

母子保健対策費 (無痛分娩体制整備) (約6,000万円)

県内での無痛分娩の実施に向け、分娩施設が無痛分娩を開始するために必要な経費を補助。出産時の選択肢を広げ、安心して出産できる医療体制の整備を進めます。

産後ケア受け皿拡充事業費 (約1,200万円)

産後ケア事業の拡大を図るため、複数市町村から事業を受託する施設に対し、新たな受入れ拡充に必要な専門職の配置経費を補助します。

いわて県民応援プレミアムポイント還元事業 (約11.6億円)

物価高騰の影響を受けている生活者を支援するとともに、県内事業者の支援につなげるため、キャッシュレス決済を活用したポイント付与を実施し、県内消費の喚起を図ります。

いわて旅割キャンペーン事業費 (約12億円)

物価高騰の影響を受けている県内宿泊事業者を支援するため、宿泊料金の割引キャンペーンを実施。県北沿岸地域は割引額を手厚く設定し、特に冬季は最大7,000円の割引とするなど、観光需要の喚起と地域経済の活性化を図ります。

衆院予算委地方公聴会



衆議院予算委員会の地方公聴会が岩手県で開催され傍聴しました。人口減少、子ども政策、地域経済、震災復興などについて参考人から意見が述べられ、国会議員との質疑が行われました。地方の実情を国政にどう反映していくのかを考える貴重な機会となりました。

総務委員会県外調査



総務委員会の県外調査として静岡県・愛知県を訪問し、行政DXの推進、光技術研究拠点、産学官連携による研究開発支援、自動運転の社会実証などの取組を調査しました。自治体は技術を自ら担うのではなく、実装が進む環境を整える役割が重要であることを学び、今後の岩手県政への活用を考える有意義な視察となりました。

東部町村議長会と懇談

東部町村議長会との懇談会に出席し、人口減少対策に直結する産業振興、鳥獣被害対策、国道340号の整備、秋サケ資源の回復やサーモン養殖、文化財のユネスコ登録など、沿岸地域の課題について意見交換を行いました。現場の声をしっかり受け止め、県政に反映できるよう取り組んでまいります。



ご要望に応じて、いつでも、どこでも県政報告会を開催いたします! E-mail または公式 LINE からお気軽にお問い合わせください。

皆様のご意見をお聞かせください! ▶ E-mail nobukazu.sasaki.555@gmail.com 公式 LINE ▶

